



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



2月19日(水)第2回 検数労連25春闘交渉 13:30~14:00

25春闘スト権投票結果、すべての項目において90%以上の賛成票で確立！全国の団結で大幅賃上げ、労働条件の改善を目指そう！

《25春闘スト権 全国集約結果》

項目	賛成	反対	白紙・棄権	合計
1. 賃金引上げ	951	10	28	989
2. 労働時間短縮	947	14	28	989
3. 産別継続課題の履行	956	5	28	989
4. 全国港湾・地域港湾課題	955	4	30	989
5. 人員確保対策	955	4	30	989
6. 安全衛生対策	956	4	29	989
7. 自然災害対策	927	9	53	989
8. 厚生年金負担割合改善	932	4	53	989
9. 国民的諸課題	892	36	61	989

【スト権集約結果】

25春闘要求の前進に向けたスト権投票（1月27日～2月17日）を実施し、中央集約した結果、左記の票の通り投票総数989票中すべての項目において賛成票「90%以上」を獲得し、高率でストライキ権を確立しました。

全国の投票結果を受け、中央闘争委員会では全国団結の力を背景に組合要求に沿った有額回答と労働条件の大幅改善を求め、25春闘闘争を構築

していきます。

【第2回交渉】

2月19日(水) 第2回 検数労連25春闘交渉を開催し、組合は冒頭、25春闘のスト権が高率で確立されたことを両協会に通知。その後両協会に対し、賃金引上げの対象者の人数や平均年齢、平均勤続年数などを記した基礎資料を受け取り、組合は次の通り主張を行いました。

相場に追い付いていないと答えないうえに、初任給30万円を出す企業が出ていて、検数労働者の中間世代を越えているのが実態である。若手に厚くすることも大事だが中高年にも厚くしていかないと技術の継承等が成り立たなくなることから、賃上げについては中高年世代も重視する必要がある。

職場からは「将来に希望が持たない」「転職を考えている」「アルバイトをしてはいけないうえに」といった声が多数上がった。こうした実態を真摯に受け止めたうえで25春闘では離職者を減らすためにも大幅賃上げが必要である。

世間的に大企業と中小企業の賃上げ格差が広がっている中、両協会においては社会的責任を果たすためにも25春闘ではインパクトのある大幅賃上げ回答が必ずである。

賃上げもさることながら、労働条件の改善や各種ハラ・スメントの撲滅なども重要視される。やはり人材の定着には賃金の他に働きやすい職場環境が重要と考えていることから、両協会も労働条件の改善にも取り組むべきである。

本日の交渉の冒頭にも通知した通り、全ての項目を90%以上で確立した。これだけ職場では25春闘に力を入れる思いが強いという事である。また、25春闘前段でのアンケートでは67%の組合

員が「生活が苦しい」と答えている実態がある。生活が苦しいと答えた組合員は「離職予備軍」と言っても過言ではないと考えている。両協会においては25春闘のスト権投票結果と組合員の期待や離職者の防止など組合要求に沿った大幅な賃上げを求めた。

【九州全日検オルグ】

2月1日(土) 門司生涯学習センターで九州全日検25春闘オルグを開催し、検数労連中執から石橋中央執行委員長・光部中央書記長・石渡中央書記次長が参加しました。

石橋中央執行委員長からは参加した組合員に対し、「皆さんからの声を聴く良い機会をいただいたので、普段から感じている不安や要望、25春闘に力を入れる思いなど何でも良いので話してほしい。皆さんの声を届け、25春闘交渉に活かしていきたい」と主張がされました。



光部中央書記長からは全国港湾での春闘課題を中心に25検数春闘の進め方、職場での春闘の進め方などの説明。

石渡中央書記次長からは、企業内課題「65歳定年制の進捗状況と今後の企業内3団体での対応」などが話されました。

参加者からは、現在の切実な生活実態と25春闘への期待や、職場での春闘を組織するにあたっての具体的な方法論。

職員Bの家族手当創設に向けた運動の強化や、検数労連独自のストライキを行ってでも大幅賃上げを勝ち取るべきといった意見もありましたが、活発な議論が展開されました。

次回交渉

第3回検数労連25春闘交渉

2月26日(水)10:00~

24年度収支予測・長時間労働対策・検数料金収受対策などを求めて交渉を行っていきます。